

2017年04月03日

2017年度 期初方針

本日4月3日(月)9時30分より、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社(東京都目黒区)にて行われました、当社代表取締役社長 宮下功による「2017年度 期初方針」の要約を下記の通りご報告いたします。

記

はじめに

ホールディングス発足から1年がたち、新しい体制の中、試行錯誤を繰り返しながら、業績面では統合に伴うのれん償却をこなした上で、昨年度を上回り、期初の業績見通しを上方修正開示している。

さらなるスピードアップが必要

同業他社と比較しても、通期見通しで営業利益率3%に届いていない現状は、手放しで喜べる状況ではない。また、多くの機関投資家さまからは、営業利益率10%以上の水準を求められている。これは当社グループおよび業界に対する叱咤激励であると同時に、期待の表れでもある。定性面においても今年度中に統合作業を完了すべく、さらなるスピードアップが必要である。

「いい会社」の条件を高い次元で両立する

ホールディングスとして初の中期経営計画上で、経営数値目標だけでなく、経営理念の中心軸に「事業を通じて社会に貢献する」ことを据え、グループのビジョンとして「食品リーディングカンパニー」となることをも併せて策定・発表した。また、「いい会社」の条件である「事業を通じて社会に貢献する」と、「利益をしっかりと出し成長し続ける」の二つを高い次元で両立する集団でありたいと考えている。

フルスイングでシナジー効果を発揮する

2年目となる今年度は、グループの経営基盤整備をさらに進め、初年度に積み残した課題を全て完了し、また、シナジー効果創出のための体制整備を今年度中に完了し、来年度には年間を通じてシナジー効果をフルに創出したいとも考えている。

今年度のグループ方針

これらを踏まえ、今年度のグループ方針として、次の2点を掲げる。

- (1) 名実ともに業界のリーディングカンパニーとなるため、統合の精神や目的にいま一度立ち返り、決して現状に満足せず、業務を通じて「社会に貢献すること」「グループの成長に資すること」を追い求めること。
- (2) シナジー効果の創出に全力を投じ、今年度の終わりには、フルスイングでシナジー効果が発揮されていること。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 総務部広報室 高武、位田 TEL: 03-5723-6889 FAX: 03-5723-2091
------------------	---